



# 西高魂!



## ～心から笑顔になれるその日まで～



発行  
福岡県立小倉西高等学校  
**津苑会**  
小倉北区下道津5丁目7-1  
TEL 093-581-9387

### 会長あいさつ

津苑会会長  
神崎 大



令和元年6月9日に開催されました津苑会総会で、津苑会第7代会長に就任いたしました高校31期の神崎大でございます。塩田前会長のあとを受け、大役を引き受けることとなりました。微力ではございますが会員の皆様のご支援・ご協力を賜りながら「津苑会」の活動活性化に尽力して参りますのでどうぞよろしくお願いたします。

まずはこのたびの新型コロナウイルスに罹患された皆様と、感染拡大により生活に影響を受けられている皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

本年、会長として初めて迎える津苑会総会でしたが、想定を上回る緊急事態に苦渋の決断をせざるを得ない状況となり、役員会、常任幹事会の了承を得て中止の決断を致しました。総会開催史上、初めての事です。

当番期である高校48期の皆さんには、早い時期より開催の予定で準備を進めていただいていたおり、このタイミングでの開催中止は、やり場のない

思いがあるうかと察します。そんな中で、総会記念誌は無事に発行することができました。早い段階より多くの方にご寄稿頂き、また当番期も力をいれて編集作業をしておりましたので、せめて総会誌だけでも皆様にお届けしたいという気持ちで発行に繋がりました。また総会中止の中、状況をご理解頂き多くの皆様に広告掲載のご協力頂きましたことを心より御礼申し上げます。

津苑会ではこの春、高校72期卒業生233名の新会員を迎えました。そして、母校小倉西高校には高校75期200名が入学いたしました。(入学式の式典ができません、この文章を執筆している4月下旬、未だ登校もままならない状況です。)

卒業と入学を繰り返して、私たちが持っていた伝統のバトンは在校生まで続いていきます。私は会長として、津苑会の運営を強化し、母校へは物心両面において教育支援していきたいよう取り組んで参りたいと思っております。

重ねまして会員の皆様のご支援とご協力、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

総会中止は大変残念なことではあります。この困難を乗り越えて、次回の総会でも皆さまで元気に会い出来ることを楽しみにしております。皆様どうぞご自愛ください。最後になりましたが、この困難な時期に医療に従事されている多くの卒業生、そして社会インフラに携わる多くの卒業生に心よりエールを送ります。

### 名誉会長 あいさつ

福岡県立小倉西高等学校  
校長 田北 裕昭



昨年4月1日から校長を拝命しております田北裕昭と申します。創立122年目を迎える伝統ある本校の同窓会「津苑会」会報の発行にあたりご挨拶させていただきます。心より感謝申し上げます。

まずをもちこの度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「津苑会」令和2年度総会が中止になりましたことを、本校といたしまして大変残念に思います。しかし、来年こそは清々しい気持ちで、晴れて総会が開かれまことをお祈り申し上げます。

今回の感染拡大により、学校も3月2日から臨時休校が続き、授業、部活動など、学校での活動が全てできない状況になりました。生徒がいないう学校はともかく、我々教員がいかに生徒から支えられ、励まされていたのかを痛感いたしました。臨時休校の長期化を踏まえて、本校でも先生方とどのようにして生徒への支援を行うかの話し合いを重ねました。そして、双方の会議システムである「Zoom」を使ったホームルームや授業、授業動画の配信、そして、生徒・家庭と学校とのコミュニケーションツールを導入し、課題の提供やWEBテストによる学習状況の把握を始めました。

さて、今年3月に卒業した72期生の進路実績についてで

すが、多くの生徒が自分の進路希望を実現し、遅く本校を巣立っていきましました。国立大学への現役合格は、67名(卒業生の29%)であり、主な進学先は、広島大学(1名)、熊本大学(4名)、九州工業大学(5名)、福岡教育大学(2名)、北九州市立大学(33名)、長崎大学(3名)、大分大学(4名)、佐賀大学(2名)等です。また、私立大学へも、青山学院大学(1名)、同志社大学(3名)、関西学院大学(2名)、関西大学(2名)、西南学院大学(10名)、福岡大学(35名)等に合格を果たしています。

また、部活動についても、加入率が80%を超え、各部が輝かしい実績をあげています。体育部では、水泳部と卓球部が九州大会への出場を果たし、卓球部、バドミントン部、ハンドボール部、弓道部、水泳部、テニス部が県大会出場をしています。また、文化部では、写真部が全国大会推薦を受け、吹奏楽部が九州アンサンブルコンテストで金賞を受賞し、吹奏楽部、書道部、アーチ部、放送部が高文祭(県大会)に出場を果たしています。部活動を通して、思いやりや支え合うことの大切さなど、生きる力を身に付け、大きく成長いたしました。

今回の臨時休校に伴う想定外の事態の中にあっても、本校生徒はしっかりと社会の中での自らの役割を理解し、家庭学習に真摯に取り組んでくれました。生徒がこれからの激動の時代を生き抜く力を育てるために、本校では「困難に耐えて生き抜く力」「確かな学力と公正な判断力」「礼儀正しく誠実な心」即ち、「強く正しく 美しく」の校訓の精神を引き継いでまいります。そして今後は、SDGsを中心とした大学や行政・企業との連携をしながら、生徒の視野を広げて学習意欲の向上を図る探究活動の充実に取り組み、「自ら考え、主体的に

### 当番期実行委員長挨拶

高校48期  
市野 敏亮



行動して、責任をもって社会変革を実現していく力」の育成に努めてまいり所存です。最後にになりましたが、津苑会皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルスに罹患された皆様、および感染拡大により生活に影響を受けられている皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、参加される皆様をはじめ総会に関わる全ての方々の健康・安全を第一に考え、検討した結果、今年度の津苑会総会中止となりました。

今年、米寿・喜寿を迎えられた高女49期・高校2期及び高校13期の先輩方、誠にありがとうございます。今年度総会の壇上にてお祝いの席を設けることができなかつたこと、大変残念に感じております。

今年度は「西高2020」新しい時代へ」のテーマのもと、約1年前より同期会や定例会などを通じて、同期生と連絡を取り合いながら準備を進めてまいりました。また、今年に入ってから感染流行状況が刻一刻と変化する中で開催の可能性を模索してまいりました。

私たち高校48期は卒業の年に体育館建て替えのため取り壊され、体育の授業や部活動で3年間を過ごした体育館で卒業式を迎えることができなかつた思いがあります。今年度総会にて、新しい体育館(サンアリーナ小倉西)で過

すことを楽しみにしております。私個人としては、数年前より総会のお手伝いとして参加する中で、当番期の先輩方の働きや、盛大に開催された総会を目の当たりにし、自身の当番期にしっかりと努めることができるのか不安を感じながらも、不安を感じながらも、現役時代に殆ど話をしたことがなかった同期生たちと「総会の開催」という目的の下に同じ時間を共有できたことは、得難い経験であったと感じています。

これまでの開催準備にあたり、校長先生をはじめ学校関係の皆様、ならびに津苑会役員をはじめ多くの先輩方に、多大なるご支援とご協力を賜りましたことを、当番期を代表して、心より御礼申し上げます。

最後に、津苑会と小倉西高等学校のさらなる発展と、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、当番期実行委員長の挨拶とさせていただきます。

～津苑会館よりおねがい～  
新型コロナウイルス感染症防止のため当面の間、お急ぎの用件以外のご来館はなるべくお控えいただけます。

# 支部だより

## 東京支部



東京支部長  
川口 京子 (高校22期)

東京支部を代表してご挨拶させていただきます。昨年の総会で、高校21期五味さんの後を承けて東京支部長に就任しました高校22期川口京子です。どうぞよろしくお願い致します。



昭和の町並み ナンジャタウンにて

今迄、東京支部の発展に、尽力を頂きました先輩方の礎のせいで、支部長・副支部長・常任幹事・会計の12名ワンチームで、東京支部の更なる飛躍を目指し頑張りたいと思っております。

昨年の総会は6月29日、高校32期が準備に2年を費やし、幾つものハードルを一つ一つクリアして、284名の同窓生にご出席頂くことができました。千秋ヶ谷にありまます国立能楽堂を会場貸切にし、野村万作氏主催「万作の会」の狂言特別公演、そして初の試みの懇親会ティーパーティーが催されました。伝統ある能楽堂の趣ある雰囲気の中、皆様館内の思い思いの場所へ、美味しい軽食と会話を楽しんで頂けました。

次に東京支部各委員会の活動ですが、総務は総会当番期に對する助言・役員会幹事会の議事録作成。組織は会員名簿の維持・管理。企画は春秋のイベント・昨年は新宿御苑での花見と懇親会、秋は池袋東武デパート屋上でBBQ、年2回のゴルフコンペなど毎年趣向をこらして先輩後輩の交流を深めて頂く活動。渉外は、謝志会(北九州地区高校の交流会を開催の行事・県人会総会・他校総会への出席等々の活動。広報は総会後発行される「津苑の集い」の発行、HP管理など会員の方々に、津苑会に少しでも興味を持ってもらえるよう活動しています。

さて「令和2年度津苑会東京支部総会」は当番期高校33期の皆さんが昨年から着々と準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令され、外出自粛の自由な日々となった状況下、残念ながら中止と判断致しました。来年9月に、総会はスライドして開催する予定です。この異常事態が終息し、来年 本部・各支部の皆様にはぜひとも東京支部総会にお出かけ頂き、同窓生と顔を合わせ、旧交を温めて頂けたら幸いです。



隅田公園花見と浅草散策



2019年度東京支部総会

## 関西支部



関西支部長  
高橋 輝久 (高校18期)

関西支部を代表してご挨拶させていただきます。今年初めに新型コロナウイルスの情報を聞きましたが、その時は隣国で確認された「新種の風邪」という認識でした。その後、2月のダイヤモンドプリンセス号の騒動で胸騒ぎがしましたが、こんなに大変な事態になるとは、想像もつきませんでした。

津苑会関西支部総会は、11月1日にホテルグランドピア大阪で開催予定でしたが、中止にせざるを得ない状況となりました。まことに残念です。



2019年度関西支部総会

昨年は小倉から田北校長、神崎津苑会会長、野口副会長、田中副会長、福岡から同期の三村支部長、合澤さん、当番期の4期市野、野中両氏に出席いただき和気あいあいとした総会でした。今年は、筆の先生をなさっている20期の大久保選手さんに小倉から参加していただき、私の尺八との合奏で「春の海」の演奏を予定してありましたが、実現できませんように皆さんと元気に大阪でお会いできることを楽しみにしています。

## 福岡支部



福岡支部長  
宗 聡 (高校31期)

令和元年度福岡支部幹事会におきまして、福岡支部長を拝命いたしました31期の宗聡と申します。優秀な諸先輩の皆様を差し置いて、私のような若輩者が重要な任務を頂くことになり、皆様の期待に添うような役目を果たすことができないか逡巡してあります。さて、私共高校31期は昨年度福岡支部総会の当番幹事を担当させて頂きました。三村(前)支部長をはじめ福岡支部の諸先輩として後輩の皆様のおかげで、私たち31期にとりましても思い出に残る素晴らしい支部総会となりました。改めて感謝申し上げます。私が特に心に残りますのは、昨年米寿を迎えられた原口ユキエ先輩の校歌斉唱でした。壇上で原口先輩が生声で歌われたのに続き120名総勢がアカペラ大合唱になりました。私はその時に涙が出てくるほどの感動を覚えたことを忘れることはできません。そのよくな福岡支部での活動を通じ、人間の暖かさ、奥床しき、校歌にもある美(うつく)しさ、小倉西高校の伝統であると改めて感じて



2019年度福岡支部総会 校歌斉唱

おります。少々大袈裟でございますが、人間としての不易は西高の伝統にありと申しますが、過度言ではないように思います。そして福岡支部七次の後輩に伝統のバトンを繋ぐべく、楽しく活動して行けたらと存じます。次回は来年になりませんが、高校32期の皆様が当番幹事ですので、ぜひ多くの皆様にお力添えを頂ければ幸いです。最期に福岡支部を支えて頂いているすべての皆様として津苑会の皆様にご感謝申し上げます。いつもありがとうございます。

## 令和2年度 津苑会事務局だより

今年の津苑会総会は、コロナウイルス感染により中止となりました。今年度総会当番期(高校48期)の皆さんは、昨年6月の総会実現のため諸準備をされてきました。一度きりの当番期でありながら大変残念ですが、来年6月の総会当番期の後輩の支援をしていただきたいと思っております。

また、今年度の各支部総会も中止となり、同窓会の皆様にとっても残念ではないかと思われまます。

創立120周年の事業も終わり、昨年の総会で神崎新会長のもと新役員体制となりました。現在、今後の新しい組織づくりと活動の充実のため、役員業務分担と母校生徒の支援活動を具体的に進めたいと会合を重ねています。

具体的には、今後生徒への教育環境の充実を図るため、周年事業(10年おきの記念事業)での支援を変更し、毎年支援できる仕組みを検討したいと考えています。

現在、学校側と役員間で話し合いを行い、会員各位へ在校生への教育環境整備のため、ひろく寄付・協賛金(10000円)を募集したいと考えています。

今後、常任幹事会で承認を得て、会員の皆様へご協力をお願いを行う予定です。会員の皆様にはおかれましては何卒よろしくお願い申し上げます。

### 1) 寄付・寄贈(令和元年6月~令和2年5月)

- ①令和元年度総会当番期(高校47期)から総会当日津苑会への寄付と津苑会館の不要品処分費用の寄贈がありました。
  - ②総会当番期(高校48期)が「西高タオル」の販売をおこない、学校の部活動・教育活動の応援として寄贈しました。(令和元年7月)
  - ③令和元年度米寿(高女48期)及び喜寿(高校12期)の皆さまから総会終了後に寄贈がありました。
- 以上の卒業生の方々からの寄付寄贈につきまして、お礼申し上げます。

### 2) 津苑会事務局のe-mailアドレスが変わりました

これまで使用しましたアドレスinfo@shinen.jpが、令和元年8月以降、新アドレスhonbu@shinenkai.comに変更となっております。

## 小倉高女新年会が開催されました!!



今年も小倉高女の新年会が令和2年1月11日(土)12時よりステーションホテル小倉で開催されました。

明治32年に小倉高等女学校として開校、今年4つ目の元号「令和」を迎えて最初の高女新年会となりました。本当に長い歴史を感じます。今年の参加者は高女48名、役員8名の総勢

56名で、年々減少傾向にありますが、ご参加の皆様は益々お元気で、和やかな雰囲気の中親交を深めていらっしゃいました。

冒頭 この1年に亡くなられた物故者への黙とうを行い、その後来賓としてご出席の津苑会 神崎会長、小倉西高校 田北校長より同窓会や学校の様子が報告されました。

乾杯は津苑会特別顧問の高女48期原口ユキエ様が行いその後楽しい懇談の時間を過ごしました。余興は今年米寿を迎える高女49期の皆様を中心に小笠原様のリードでレクダンスを行いました。毎年恒例となっているレクダンスですが高女49期の皆さんのお元気でスムーズなダンスに驚かされました。会の後半にはお楽しみ抽選会があり同期の中から当選者が出る度に同じテーブルの皆さんから歓喜の声が上がり大変盛り上がりしました。

最後に全員で小倉高女校歌を合唱して盛会の中閉会となりました。本年度は総会が新型コロナウイルスの影響で中止となり、高女49期の皆様の米寿のお祝いも来年度に持ち越しとなりました。とても残念ですが、この国難を乗り越えて、来年の総会で改めて米寿のお祝いを会員の皆様方と共にできることを心より願っております。

来年の高女新年会は令和3年1月9日を予定していますが新型コロナウイルス感染拡大状況により変更があるかも知れません。津苑会のホームページなどでご連絡を致します。



## 津苑同友会だより

~令和元年度の活動~

### ●ゴルフコンパ

令和元年9月21日(土) 勝山御所カントリークラブにて開催 24名の参加で楽しく交流しました。

### ●同友会総会

令和元年11月21日(木) ホテルクラウンパレス小倉にて開催 参加者57名。宗教法人北方不動宝明院 住職 別府 統務氏(高校46期)による「終活について ~これからをよりよく生きるために~」の講演が行われました。懇親会では高校48期の皆さんが総会のPRを行いました。

### ●暑気払い & 当番期お疲れさま会 / 青年部

令和元年7月29日(月) 焼肉酒家牛さくら 京町本店にて開催 47名の参加で令和1年度の当番期の皆さんを労い、会員同士の懇親を深めました。

### ●湯布院合宿 / 青年部主催

令和元年9月28日(土)・29日(日) 株式会社フジコー 保養所 秀江苑にて開催 津苑同友会会長 山本厚生氏のご厚意により、利用させていただきました。参加者6名と少人数でしたが、楽しくバーベキューを行いながら、これからの活動について有意義な意見が交わされました。



### 津苑同友会では皆さまのご入会をお待ちしております!

津苑同友会は会員の異業種交流を行うことにより、縦のつながりを発展させ、会員相互の親睦・研鑽を図り、地域経済と母校の発展に寄与することを目的として活動しています。

<連絡先> 津苑会事務局 TEL: 093-581-9387

## ◆津苑会賞◆



令和2年2月29日本校体育館にて、令和元年度津苑会賞の表彰が行われました。

### 【令和元年度受賞者】

- 高校72期 山口 朝陽さん (やまくち あさひ)
- 森部 晶絵さん (もりべ あきえ)

### 【推薦理由】

おふたりは、高校3年間を通して、校内外に関わらず積極的にボランティア活動や様々なプロジェクトに参加しました。その活動内容についてはこちらで書ききれないほど推薦書に列記されています。中でも、自己の利益を顧みず行った豪雨災害ボランティア(両名参加)では名を明かさず、その謙虚さと行動力に学校あてに感謝の手紙が届きました。1学年次、創立120周年記念事業のパスカルプロジェクト東京研修には両名が参加。将来の津苑会を担い、社会に貢献できる人物として推薦されました。

